



芝中学校吹奏楽部による演奏



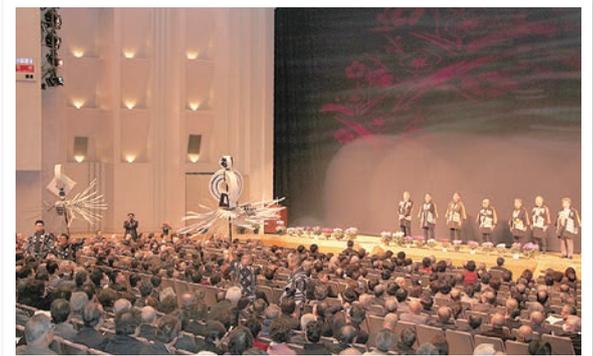
川口市三曲連盟による演奏



北村姉妹による津軽三味線演奏



川口御成姫も参加



川口^{きやり}消防組木遣保存会による木遣

新春交礼会

1月6日、リリアで開催。各種団体や町会関係者など1,600人が参加。川口市三曲連盟の演奏や川口^{きやり}消防組の木遣などが行われ新年の門出を盛大に祝いました。

KAWAGUCHI PUBLICITY



川口市はたちの集い

成人の日の1月13日、リリアで開催。市内で成人を迎えた5,439人のうち3,312人が参加し、久しぶりの再会を喜びあう新成人でにぎわいました。





川口市震災総合防災演習

1月19日、三領運動場で開催。阪神・淡路大震災や東日本大震災を教訓に、消火訓練や倒壊建物からの救出訓練などを実施しました。また、地域との連携を図るため、西中学校の生徒20人が中学生防災リーダーとして参加しました。

女子サッカー教室

1月19日、青木町公園総合運動場で講師にサッカー女子日本代表の大野忍選手を迎えて開催。95人の参加者はドリブル練習のあとミニゲームを楽しみました。



COMMUNITY

マイシティ
かわぐち

MYCITY

ひと・歴史・かわぐち Vol. 13

このコーナーでは「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」に登場した川口ゆかりの人物を紹介していきます。

国防の近代化に無欲で尽くす

高島 秋帆

今回は、大砲製造で川口との縁の深い、幕末期の国防の近代化に尽くした西洋砲術家・高島秋帆をご紹介します。

「世に良工がいなければ良器があるはずもなく、良器がなければどうしてその術を使うことができよう」。当時の技術水準では不可能とされた大型砲をも製造した幕府御用鑄物師増田安次郎（現・増幸産業(株)・本町1）を讀えた、秋帆の褒状の一節（意訳）です。西洋式の軍事理論や技術を学ぶ幕府の機関「講武所」の砲術師範役だった秋帆は、大砲設計・鑄造にも精通していました。

寛政10年（1798）、10万石の大名並みの財力を持つといわれた長崎の町年寄・高島茂紀の3男として長崎に生を受けた秋帆は、出島を通じて蘭学や西洋式兵学・砲術を学び、「高島流砲術」を編み出します。時は折りしも、清がイギリスの圧倒的軍事力に屈するアヘン戦争のころ。秋帆は、幕府に西洋式砲術で日本を防衛すべきとの意見書を提出します。ほどなく幕命により、日本初の西洋式砲術演習を実施。卓越性をまざまざと見せつけました。これを機に秋帆は幕府から砲術の専門家として重用され、高島流砲術は、各地へ広まります。

しかし、罪に陥られ、高島家は断絶、秋帆は約11年にわたり幽閉されました。やがて黒船が来航。欧米列強の脅威に直面した幕府は、秋帆をゆるし幕臣に加えます。再び国防の最前線に立った秋帆は、豊かだった町年寄の暮らしには戻らず、優れた人材の育成に無欲で尽くしました。

国の将来を憂い、国防の近代化に心血を注いだ秋帆。現職のまま69年の波乱に満ちた生涯を閉じました。慶応2年（1866）正月14日のことでした。

参考文献「評伝 高島秋帆」1986、石山滋夫著、章書房



高島四郎太夫砲術稽古業見分之図：板橋区立郷土資料館蔵
長崎から率いた門弟100余人とともに、正確な大砲の射撃、歩兵・砲兵・騎兵が連携した三兵戦術などを披露。その地は秋帆の姓に由来する板橋区高島平として往時を今に伝えている。